

(別紙5)

補助事業番号 2017P-047
補助事業名 平成29年度 国際交流の推進活動 補助事業
補助事業者名 一般社団法人 放送人の会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

日本、韓国、中国3カ国のテレビ番組制作者一堂に会し、各国の参加作品の鑑賞や質疑応答、シンポジウム等の交流を行い、共同制作を促し、番組制作力を発展させるなど、各国の放送文化の向上を図り、相互理解、文化交流を促進することを目的とする。今回は、参加者の若返りを目指し、国際交流の学的拠点でもある上智大学四谷キャンパスを会場に、大学生や、研究者が多数在籍する、メディアジャーナリズム研究所の共催を得て実施した。そのことにより、各国の番組制作者と市民たちのより広範な相互理解を促進させ、もって公益の増進にも寄与することである。

(2) 実施内容

第17回・日韓中テレビ制作者フォーラムin東京 (<http://www.hosojin.jp/>)

日韓中のテレビ制作者が毎回テーマ（今回は、田舎暮らし～都市と地方の問題を考える～）を設定し、作品を試写鑑賞、質疑応答やシンポジウムを通じて、各国の番組制作への取り組み方、視聴者の視聴の仕方等に共通認識を持った。今回は会場である上智大学に学ぶ、日観中三国の学生が、期間中通訳として参加し、三国参加者間のコミュニケーションを活発化させ、放送人同士の理解や交流を深めるのに、大いに役立ってくれた。またこのフォーラムには、研究者をはじめ、一般視聴者も多数参加した。



(別紙5)



(別紙5)

2 予想される事業実施効果

今回試写された番組のテーマは「田舎暮らし～都市と地方の問題を考える～」であった。三国の作品について、各国の参加者による活発な議論がなされ、改めて三国における放送事情の確認、お互いの市民感情や、認識の違いもまた確認できた。これらを確認できたのも、これまでのこの試みの積み重ねによる、参加者による忌憚のない意見の交換が当たり前なものとなったからである。

今回特筆すべきは、これまで現場制作者の参加が少なかった日本側に、多くの放送局、制作会社の若い制作者が参加したことである。上智大学の学生が通訳役を果たし、三国の若い放送関係者における共通理解や友好がより促進され、この事業の継続性に展望を与えたと同時に、上智のキャンパス会場に、多くの研究者や市民が参加したことも加えれば、この事業に広がりを与えることとなったといえるのではないかと。

3 本事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

チラシ、パンフレット、DVD 他



(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

該当なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般社団法人 放送人の会（ホウソウジンノカイ）

住所： 〒102-0094

東京都千代田区紀尾井町1-1千代田放送会館3階

代表者： 会長 今野 勉（コンノ ツトム）

担当部署：

担当者名： 理事（事業委員長） 渡辺 紘史（ワタナベ ヒロシ）

(別紙5)

電話番号： 03-3221-0019

F A X： 03-3221-0019

E - m a i l： info@hosojin.com

U R L： <http://www.hosojin.jp/>